

平成30年第8回玉野市教育委員会 会議録

I 期 日： 平成30年5月29日（火） 於：第1委員会室

II 開会時間： 14時00分

閉会時間： 16時00分

III 出席委員： 教育長 石川 雅史 教育長職務代理者 大川 佳郎
委員 野田 洋二 委員 近藤 寿子
委員 妹尾 恵美

IV 欠席委員： ー

V 出席者氏名： 教育次長 岡本 隆 教育総務課長 服部 克巳
学校教育課長 住田 義広 就学前教育課長 牧野 真哉
社会教育課長 三宅 忍
(書記) 山内 祐樹

VI 会議内容：

1. 開 会

2. 前回会議録の承認

平成30年第7回教育委員会会議（H30.5.15）の議決事項等について。

教育長報告：平成30年3月定例市議会一般質問概要について

議 事：議案第16号 玉野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関
する基準を定める条例の一部改正について 他2件

協 議：平成30年度教育委員懇談会実施計画（案）について 他2件

そ の 他：玉野市総合計画の改定に合わせた玉野市教育大綱の改定等について
(承認)

3. 教育長の報告

- (石川教育長) 北体育館のプロポーサル結果について報告をお願いします。
- (社会教育課長) 5月27日(日)に公事業者提案の審査を行った。参加1事業者の得点は基準点に達せず、候補者の選定には至らなかった。
- (野田委員) 基準点に達していないとはどういうことか。
- (社会教育課長) 委員5名が500点満点で評価しているが、平均が6割(300点)に満たなければ選定なしとすることとしていた。

4. 議 事

(1) 議案第20号 玉野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例施行規則一部改正について

- (就学前教育課長) 資料により説明。
段階的無償化の一環で保育料の改正をする際、1号認定の改正が漏れていた。なお、改正漏れ部分の対象者はいない。
- (承認)

5. 協 議

(1) 平成30年度玉野市教育行政重点施策について(第2稿)

- (教育総務課長) 資料により説明。
- (近藤委員) L G B Tが世間で認知されるようになったと感じるが、性に関する差別について記載が無いと思った。
- (学校教育課長) 記載するならば「人権教育の推進」の項になるかと思う。他の代表的な人権問題についても触れたほうが良いかもしれない。

(2) 玉野市学校給食センター整備基本方針計画(案)について

- (教育総務課長) 資料により説明。
- (野田委員) 最近は減っているようだが、保護者が民間事業者の参入について言う「食の安全に対する懸念」とは、どのような事態を指しているか。

(教育総務課長) 利益優先で安い食材を使って手を抜いてといったイメージがあるのではないか。玉野市は学校給食会から食材を仕入れ、栄養教諭が献立、衛生、調理の管理を今までどおり行う。

(近藤委員) 今の給食に満足している保護者が多いので、変化に対する不安や、責任の所在が曖昧になるのではないかという点もあるのだろう。

(教育総務課長) 食材の調達や献立の作成は今と変わらない。継続雇用を前提とすれば調理する人も変わらない場合がある。責任の所在については、契約書作成の段階で、弁護士等の専門的な知見を加えながら明確にしていく。

(野田委員) 岡山市でも調理の委託が増えているようだが、先生方に尋ねてもまったく問題無いようだ。

(石川教育長) 全国的に見れば半数くらいは調理を委託しているようだ。

(3) 平成30年度教育委員会懇談会実施計画(案)について

(教育総務課長) 資料により説明。

(4) 教育委員による学校等視察の実施について

(教育総務課長) 資料により説明。

(5) 平成30年度玉野市立図書館管理運営のサービス指標

(社会教育課長) 資料により説明。

(野田委員) 利用者数と実利用者数の違いは。

(石川教育長) 利用者数は延べ人数であり、同じ人であっても貸出しの回数だけカウントされる。実利用者数は複数カウントを除いた純粋な人数だ。

(野田委員) 実利用者数8千人に対し利用者数が12万にもなるのは、特定の人が何度も通い、市民にあまり広まっていないということにならないか。

(石川教育長) 親のカードで子が借りるなど、家族でカードを共有している例もあるだろう。世帯数と見れば数字的に悪くないのではないか。

(大川委員) カード無しで利用する人も多いか。

(社会教育課長) 学校帰りの高校生も相当数来ており、勉強などしている。

(大川委員) 自習も可能か。

- (社会教育課長) 可能だ。高校生は自習での利用が多く、入館者数に大きく寄与している。
- (大川委員) 置いて欲しい本の要望はあるか。
- (社会教育課長) 色々とリクエストを受けている。県立図書館との連携により取り寄せる場合もある。
- (野田委員) 職員にレファレンスをお願いしたところ、倉庫から出てきたことがある。なぜ本棚にないのか尋ねたら「発行年が古いため」ということであった。
- (社会教育課長) 古い本や専門的な本は並べていないケースもあるようだ。
- (近藤委員) バックヤードの本も検索対象か。
- (社会教育課長) 検索可能だ。
- (石川教育長) 指定管理に変わったことによって、市民センターの図書館利用者数はどうなったか。
- (社会教育課長) 市民センターの図書館が利用できなくなるという誤解もあったようで利用数が下がった。従来どおり週2日開館しており、変わらず利用できることをPRしていきたい。

6. その他

(1) 平成30年6月補正予算の概要について

- (各課長) 資料により説明。
- (野田委員) 業務改善のアドバイザーとはどのようなことをするのか。
- (学校教育課長) 県の人選による専門家で、管理職と面談したり、職員室で相談を受けたりといったことをするようだ。
- (大川委員) 教職員の残業時間はひと月どのくらいか。
- (学校教育課長) 40時間程度が一番多く、職員の20～30%は60～80時間くらい残業している。5%は100時間くらいになるかもしれない。
残業時間の25%削減を目標としている。
- (野田委員) 部活動もカウントしたら100時間くらいになると思う。

(2) 宇野小学校屋内運動場屋根外壁等改修工事の実施取り止めについて

(教育総務課長) 資料により説明。

(近藤委員) 緊急性はないのか。

(教育総務課長) 緊急的なものではない。経年劣化したものの改修だ。屋根の改修と外壁の張り替えを予定していた。

(3) 平成30年6月／7月 月間行事予定について

(教育総務課長) 資料により説明。

次回、教育委員会は平成30年6月26日(火)午後から(開始時刻・場所は調整中) 参集願います。

以上で、第8回教育委員会を閉会します。

議事録調整者

書記

山内 祐樹



会議録署名委員

教育長

石川 雅史



〃

教育長職務代理者

大川 佳郎

